ＴＡ－３１ 組立説明書

この度はナガラＴＡ－３１をお買い上げいただき誠に有難うございます。
このアンテナは小型軽量ながら，入念に設計されたハイパワーにも耐える１４／２１／２８ＭＨｚ帯用高性能ダイポールです。
組立の前に説明書をよく読みアンテナの構造，組立方法などを十分理解して作業にあたってください。

Profile

- 小型軽量
  重量３．９ｋｇ，回転半径３．８ｍのコンパクトな設計です。
- 耐高電力
  アンテナ入力ＳＳＢでは３Ｋワットまでご使用いただけます。

§　仕　様

周波数	:BAND	１４／２１／２８ＭＨｚ帯
形式	:TYPE	ロータリーダイポール
エレメント長	:MAX ELE LENGTH	７．４３ｍ
風圧面積	:SURFACE AREA	０．１８㎡
回転半径	:TURNING RADIUS	３．８ｍ
重量	:WEIGHT	３．９Ｋｇ
最大空中線電力	:MAX Kw	３ＫＷ　ＳＳＢ
適合マスト径	:MAST DIAMETER	３８～６０ｍｍ
ＶＳＷＲ		帯域内　１．５　以下

１．組　立　準　備

部品表をよく見て部品がそろっているか確認してください。

組立順序は　１）エレメントサポートの組立
２）エレメントの組立
３）ＨＦバランの取付
４）テナコートの塗布
５）マストへの取付

＊　多人数で作業を行うときは必ずリーダーを決めその人の指図で作業を進めてください。
各自がバラバラで組立てるとミスの発生原因にもなりかねません。リーダーは必ず他のメンバーの進行状況を把握し，責任を持って出来具合をチェックしてください。

＊　パイプの接合部分にホコリ，ごみ，砂等が付着しないよう気をつけてください。それらが有るとパイプが抜き差しできなくなる場合があります。

＊　パイプの接合部分、セルフタップネジ、Ｕボルト類には必ずテナメイトを塗布してください。接触障害を防ぎそれぞれがスムーズに挿入できる他、ネジ類の噛み込み防止にも役立ちます。

＊　このアンテナは周波数の高い領域（Ｐｈｏｎｅ）と低い領域（ＣＷ）の穴セットを用意し、エレメント等の各カラーマークの位置で高い領域には２本の印、低い領域には１本の印が記されています。

＊　トラップアッセンブリーはトラップの内側にカラーマークが記されていますので必ずカラーマークがマスト側に向くよう取り付けてください。反対向けに付けるとＳＷＲが高くなり正常に動作しなくなりますので注意してください。

＊　トラップアッセンブリー中央には水抜きの為ドレインホールがあります。このドレインホールが下を向くように取り付けてください。

＊　テナコートの塗布は金属部分だけにとどめ，プラスチックには塗らないでください。

NDK-INST 03086B

2.　組　立

1）エレメントサポートの組立

- □　インシュレーター(2)をエレメントサポート(1)にＭ５×３５ネジ(3)及びＭ５ロックワッシャー(4)で取り付けます。この時Ｍ５×３５ネジはあまり強く締め付けないでインシュレーターが軽く動く程度にしておきます。

2）エレメントの組立

- □　エレメントサポート上のインシュレーターにエレメント 25.4×1826(6)を乗せ，Ｍ５×４５ネジ(5)とロックワッシャー(4)で取り付けます。この時エレメント 25.4×1826(6)には上下の向きが有りますので注意してください。カラーマークのある他端のタップネジ用の穴が必ず下を向くように取り付けます。
- □　Ｍ５×４５ネジの内，給電部を取り付ける内側のネジには予めバランリード(94)を付けておきます。
- □　インシュレーターとエレメントサポートをＭ５×３５ネジでしっかりと締め付けます。
- □　エレメント 22.2×910(7)の青色カラーマーク側にテナメイト(18)を塗り，エレメント(6)に差し込みます。中心周波数をＣＷバンドに合わせる時には青色カラーマーク１本に，Ｐｈｏｎｅバンドに合わせたい時は２本の穴を使用し，４×８セルフタップネジ(11)で取り付けます。
- □　トラップアッセンブリー(8)の青色カラーマーク側にテナメイトを塗り，エレメント 22.2×910 に差し込みセルフタップネジで取り付けます。この時ドレインホールが下を向いていることを確認しておいてください。
- □　エレメント 15.8×890(9)の青色カラーマーク側にテナメイトを塗り，トラップアッセンブリーに差し込みセルフタップネジで取り付けます。
- □　エレメント 15.8×890 先端に 15.8 ㎜キャップ(10)を，エレメント 25.4×1826 内側に 25.4 ㎜キャップ(17)を差し込みます。

3）ＨＦバランの取付

- □　専用ＨＦバラン(91)に貼られているラベル［ＨＦ-ＢＡＬＵＮ］の文字を正面になるように，先ほど給電部に取り付けたリード線を専用ＨＦバランに取り付けます。この時，Ｍ５のナットの締め付け強度に注意してください。締めすぎるとバランが壊れます。

御 注 意

バラン本体とバランリード線の取付け部分のネジは，プラスチックにネジがインサートしてあります。必要以上に強い力で締めますとバラン内部が破損することになります。締め付け強度は10Kg／㎝以下の力でお願いします。

- □　バランにバランクランプ(92)を通しネジで固定します。
- □　同軸ケーブルにＭＰ接線を取付，バランのＭＲコネクターに接続し，防水処理を施します。この時，防水処理はコネクター部だけにしてください。バランのコネクターの周りにある隙間は，水抜きのギャップですので物を詰めないでください。
- □　最後にバランクランプをＭ５×６８×８３Ｕボルトセット(93)を使いマストに取り付けます。

4）テナコートの塗布

- □　エレメントの繋ぎ目からはみ出したテナメイトを拭き取ります。
- □　組み上がったエレメントやトラップ，エレメントサポートにテナコートを塗布します。
  但し，プラスチック部分には塗らないでください。

5）マストへの取付

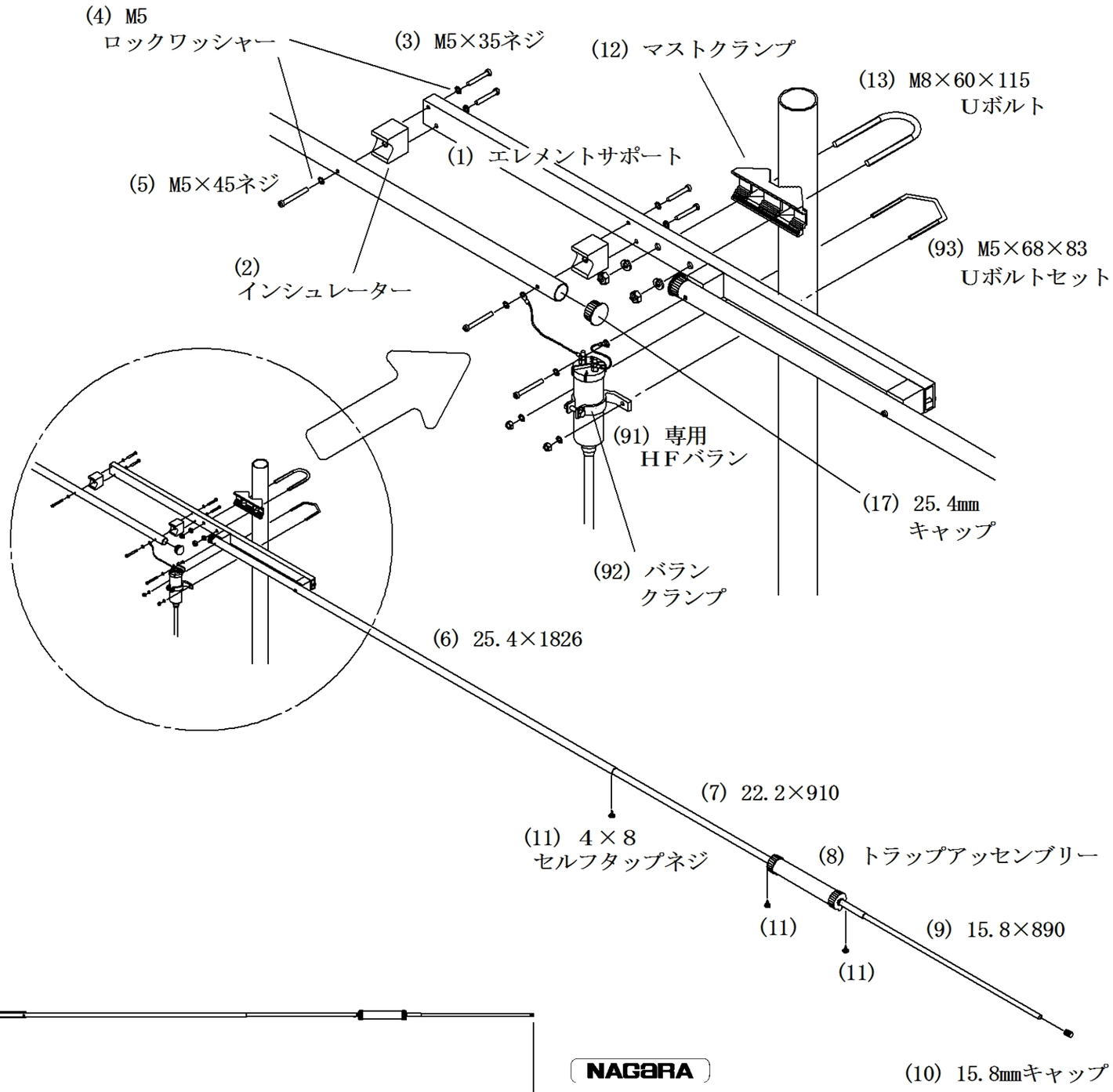
- □　マストクランプ(12)及びＭ８×６０×１１５Ｕボルト(13)，Ｍ８スプリングワッシャー(14)，Ｍ８”ナット(15)を使いマストに取り付けます。

アンテナの防水処理について

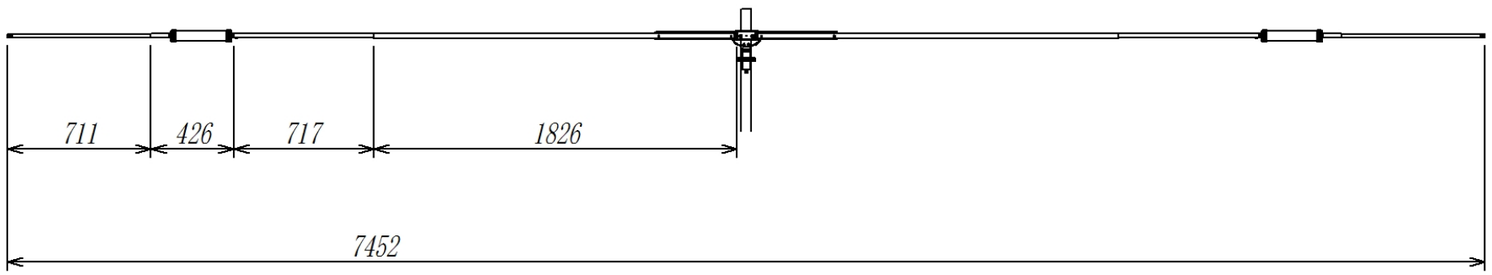
アンテナ給電部バランのコネクターだけを自己融着テープを使って防水処理をしてください。アンテナは元来屋外機器として設計されています。バランコネクター部を除き，そのまま防水処理をしないでご使用いただいてもまったく問題はありません。バランの内部やエレメントパイプ，ブームパイプの内部には，外から入る水だけでなく温度差などにより内部に水滴が発生します。　テーピングやコーキング等ではこれを防げません。それより発生した水滴等を外部へ排出出来ることが大切です。バランのコネクター座とケースの隙間は水抜き用ギャップですので絶対に詰め物等をしないでください。エレメントの接続部分並びにトラップ部にもテーピングはしないでください。

TA-31 部品表

部品番号	部　　品　　名	数　量	チェック
1	エレメントサポート	1	
2	インシュレーター	4	
3	M５×３５ネジ	8	
4	M５ロックワッシャー	１２	
5	M５×４５ネジ	4	
6	エレメント 25.4×1826	2	
7	エレメント 22.2×910	2	
8	トラップアッセンブリー	2	
9	エレメント 15.8×890	2	
１０	15.8㎜キャップ	2	
１１	４×８セルフタップネジ	6	
１２	マストクランプ	1	
１３	M８×６０×１１５Uボルト	1	
１４	M８スプリングワッシャー	2	
１５	M８ナット	2	
１７	25.4㎜キャップ	2	
１８	テナメイト	1	
１９	テナコート	1	
９１	専用HFバラン	1	
９２	バランクランプ（ネジ付）	1	
９３	M５×６８×８３Uボルトセット	1	
９４	バランリード線	2	



TA-31寸法図



NAGARA

株式会社　ナガラ電子工業　TEL (0748) 20-1650
〒527-0074　滋賀県東近江市市辺町 2876-2　FAX (0748) 20-1651
NAGARA DENSHI KOGYO CO., LTD　TEL +81 748 20 1650
2786-2 ICHINOBE-CHO HIGASHIOMI-SHI 527-0074 JAPAN　FAX +81 748 20 1651
http://www.nagara-ant.com